

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援センターつむぎ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数)	37人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの人数に対する職員数の割合が園よりも多く、お子さん1人1人に対して個別のかかわりができやすく、排泄面や食事面などについても個々に合わせたより丁寧な対応ができる。	お子さんの状態や様子について、日々のミーティングの中や連絡ノートを用いて職員間で情報共有を行い、共通理解に基づいて対応をするように心がけている。	お子さんへのかかわりについて、職員間でより共通した対応を取ることができるよう、きめ細やかな情報共有をしていく。特に臨時職員に対しては日々のミーティングに参加することができないため、重要なことは個々に話をして伝えるなどの対応を取っていく。
2	保護者やお子さんへの接し方や対応などについて、保護者対象のアンケート結果からおおむね好意的な評価をいただいている。また、何人かの保護者から、お子さんがつむぎに通うことをとても楽しみにしているとの話をいただいており、保護者やお子さんにとって通いやすい施設となっていると思われる。	保護者に対しては、送迎時のあいさつ等を全職員が丁寧にするよう心がけている。フィードバックについても、お子さんの成長した点や良かった点を中心に保護者にお伝えするようにしている。	保護者からの相談や苦情があった際には、事業所内で対応策を考えた上で、なるべく迅速に保護者と話をする機会を作り、その都度問題解決をはかれるよう努めていく。
3	こども発達センターや法人内の放課後等デイサービスと連携を取ることができ、事業所間の移行をするお子さんについて緊密な情報共有をすることができる。また、心理士や作業療法士などの専門職とも連携することができ、よりきめ細かい療育や保護者支援を提供できる。	つむぎからセンター医療を受診したいお子さんなどについて、センターと連携を取り受診がスムーズにつながるよう対応をしている。また、保護者につむぎで心理相談や発達検査を行えることを周知し、希望があった際にはすぐに心理士につないでいる。	情報共有について、特にアレルギーや発作などがあり特別な対応が必要となるお子さんについては、事業所間でより丁寧な申し送りができるよう留意していく。また、療育内容について、今後も専門職の意見も取り入れながら活動内容を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	屋外で遊んだり活動したりするスペースがほとんどなく、戸外遊びができていない。お子さんを外で遊ばせてほしいといった保護者からの要望に、十分に 대응できていない。	園庭などの屋外遊びのためのスペースが作られていない。また、公園などの遊び場が、歩いて行ける範囲にない。散歩については、気候の良い日でも、お子さんの人数が多いと安全面の上で難しくなる。	建物横のスペースを活用し、安全面に配慮した上でシャボン玉遊びなどの戸外遊びをなるべく行っていく。散歩についても、職員の数が確保できる時には積極的に行う。
2	療育の活動内容について、似たようなものが多くないがちであり、お子さんが楽しめるようなパラエティーに富んだ活動が提供できていない。	保育園等での現場経験のある職員がほとんどおらず、職員がお子さんの活動についての知識が乏しい。また、新たな活動のための用具等を作ることができていない。	活動内容について、施設内の職員だけでなく、施設外の職員や専門職にも意見を求めていく。また、施設内の職員間でも、どのような活動内容がお子さんの発達を促していくかなどの検討を行っていく。
3	特に臨時職員に対して、お子さんについての情報共有を行ったり、療育に関する意見を聞いたりする場を持つ機会が乏しい。連絡ノートや、お子さんの情報についての回覧だけでは不十分な点も多い。	臨時職員の出勤、退勤時間がお子さんが登所している時間帯になり、また曜日ごとに出勤する職員が異なるため、全員とミーティングをしたり意見を聞いたりする時間が取りにくい。	お子さんに関する重要な情報については、臨時職員に対しても紙面だけでなく直接情報共有をする場を設け、また臨時職員の療育に関する意見を聞く機会を可能な範囲で設けていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
こども支援センターつむぎ（児童発達支援）		2025年 6月 16日					2025年2月28日 50人		37	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	4	1	0	・広ければ広いほうがいいと思います ・いつも楽しく過ごしています ・もう少し広いほうがいいのかなと思いますが活動等がで ているならいいと思います		建物内のスペースは制限がありますが、お子さん たちが体を使って様々な活動ができるよう工夫をして いきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1	0	1	・送迎は早く降りも遅いので全員揃っている のをみたことがないので ・かたまってないのでいいと思います		今後も適切な職員配置を行っていきたくと思いま す。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	5	2	1	・エレベーターがない ・エレベーターがあるかどうかわからないため、バリアフ リー化しているとは言いきれません ・全体的にさっぱりした空間だなと思います ・かばん入れやトイレなど子供から見て分かりやすく、自 分から動いて支度ができる導線になっていると思います ・なっていないと思う ・こどもにわかりやすい環境だと思います		バリアフリーにつきましては、ご利用者様の意見を 踏まえた上で、可能な限り改善をしていきたいと思 います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1	0	0	・これからも掃除をお願いします ・清潔な施設だと思います ・思いきり走りまわっております 行き来りありません ・清潔でいい環境だと思います ・いつもきれいに掃除されている		今後も清潔な環境を保てるよう努めていきたいと思 います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	32	5	0	0	・この一年で大きく成長してくれて感謝しています ・体験のトレーニングできるサーキット遊びをしていた だけ助かります ・専門性と言われるとそこまではしていないと思う ・先生たちが十分に理解して支援をしてくれているのでは ないかと思っています		職員も日々研修をして、より専門性の高い教育を提 供できるよう努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	34	2	0	1	・散歩が全然なかった ・他の人とのつながりや信頼感を大切にしていると思 います ・合っていると思います		今後、散歩に行く機会も増やしていきたいと思いま す。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	35	1	0	0	・将来どのコミュニティで生きていくベースの部分 をしっかり伸ばしてくれています ・そうだと思います		今後もお子さんや保護者のニーズに沿った個別支援 計画を作成していくよう努めていきたいと思いま す。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1	0	1	・将来どのコミュニティで生きていくベースの部分 をしっかり伸ばしてくれています ・途中評価があり、計画に沿った取組がされています ・本人の支援のみかな		お子さんへの支援に加えて、ご家族への支援につい ては日々のフィードバック、懇談、心理相談等を行 い、移行支援については在籍園と連携を取りながら 取り組んでいます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	0	0	・記載項目の成長を感じます ・そうだと思います		今後も個別支援計画に沿った支援を意識して取り組 んでいきたいと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	30	4	0	3	・ある程度固定し繰り返すことを重要だと思います		今後も、お子さんが楽しんで取り組める活動プログ ラムを考えていきたいと思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	22	4	1	9	・並行通貫していますもう一方の保育園にも様子を見に 来てくれます ・交流ないです ・はいあります		来年度も在籍園に訪問をして、お子さんへの支援に ついて園との連携をしていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	36	1	0	0	・ありました		今後も、ご利用開始の際は運営規定や支援プログラ ム等について、丁寧な説明を心がけていきたいと思 います。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	0	・毎回 1 時間程度話をしてくれます ・ありました		個別支援計画について、保護者と共通の理解が持て るよう、今後も丁寧に説明をしていきたいと思いま す。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	13	9	3	10	・参加型ではない		今後、家族支援プログラム等につきましても実施を 検討していきたいと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	33	2	0	0	・連絡帳、フィードバック等で共通の認識を持ってい ます ・いつもマンツーマンでその日の出来事を教えて頂ける ので安心です ・できています		今後も日々のフィードバックや懇談を通じて、お子 さんの発達状況や課題について保護者と共通の認識 が持てるよう努めていきたいと思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	4	0	0	・あまり負担にならないように配慮を感じています ・どこまでが支援なのか分からない ・助言かどうかはどちらともいえないです		今後も保護者にとって必要で適切な助言をしてい けるよう努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2	0	0	・支援をしてくれていると思います		今後も保護者の立場に立ち、寄り添いながら支援を 行っていきたくと思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	8	15	・難しいとは思いますが、参観日があると良いなと思 います ・少なめ		療育参観については随時行っておりますので、ご希 望日を伺ったうえで調整させていただきます。 保護者同士の交流の機会などは、今後検討してい きたいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	3	1	3	・相談は福祉の村、青い鳥で行っています ・していると思います	今後も、必要に応じて保護者が関係機関に迅速につながるができるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	4	0	2	・都度フィードバックがあるため ・していると思います	日々の送り迎えやフィードバックの際に、保護者との丁寧なコミュニケーションを心がけていきたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	3	1	1	・あまり見ていない。興味が無い ・いつも楽しく拝見しています ・発信されています	今後も、お子さんたちの活動の様子が分かるよう、ホームページやお便りで情報発信をしていきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1	0	2	・していると思います	今後も個人情報の取り扱いには十分に留意して業務を行っていききたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	7	1	6	・訓練があるのか分かりません	事業所内で策定されているマニュアルについて、今後お便り等を通じて保護者にも周知していききたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	6	0	19	・訓練があるのか分かりません ・していると思います	定期系に避難訓練を行っておりますが、訓練を行った際にはその都度保護者にお伝えしていききたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	4	・していると思います	今後も安全の確保に留意しながら療育を進めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	4	・つむぎの連絡を不安に思ったことはありません ・怪我の頻度が多かった時期が気になる ・説明をしてくれます	今後も、怪我や事故が発生した際は、速やかに保護者に連絡を取ると共に、事故の状況や対応策について丁寧に説明していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	3	0	1	・本人は楽しみにしています ・しています	今後も、お子さんが安心して通うことができるよう、行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	4	1	1	・保育園の先生の名前は憶えていないのにつむぎの先生の名前は言える程楽しく通っています。ありがとうございます ・通所すれば楽しく過ごしているが、行く途中で「行かない」「待ってる」と嫌がることもある ・家でも今日はつむぎ？明日つむぎ？と聞いてくるほど楽しみにしています ・喜んで通っています ・楽しんでます	今後も、お子さんが楽しみながら通うことができる施設づくりを目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	4	0	0	・いつも子供に寄り添って頂きありがとうございます ・しています	今後も、お子さんや保護者のニーズに沿ったきめ細やかな支援ができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども支援センターつむぎ（児童発達支援）				公表日	2025年	6月	16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		・外で遊べるスペースがあると良い			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		・職員が多いと感じる日もありますが、利用者への手厚い支援や職員の事務処理のためには良いと思います			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・死角になる場所があったり（ミラー有）こどもがよじのぼってしまう所があったりするので気をつけている				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日、お子さんが帰った後は、療育室の清掃、消毒を行っている。	・建具等が簡単にこわれてしまいがち			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・必要に応じて、お子さんのクールダウン等で個別の部屋を使用している。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・日常の業務であまり意識できていない			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年度末に、保護者向けのCSアンケートを実施している。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・日々の反省や連絡ノートで意見の把握を行っている	・意見交換する機会がない（手短な内容であればあるが）			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内で、全職員を対象とした研修を定期的に行っている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・お子さんの課題だけでなく、保護者のニーズも踏まえた上で個別支援計画を作成している。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児童発達支援計画の作成にあたっては、日々の療育に携わっている職員の意見を聞きながら作成がされている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・個別支援計画の内容は日々の記録のシートに記載されており、記録を作成する職員が目にすることができるようになっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・一定の活動を継続して行うことはあるが、毎週同じものが続かないよう留意している。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・日常的には小集団活動を基本としているが、一月の中で必ず個別活動も入れるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝のミーティングでその日の活動内容や役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・夕方のミーティングで、お子さんの様子や支援の課題点について職員間で共有をしている。	・打ち合わせと言えるかは分かりませんが、気になったことはお伝えするようにはしています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年ごとにモニタリングを行い、保護者とも面談を行い支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・サービス担当者会議に参加する機会がなかった。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・お子さんの在籍園に年に1回は訪問し、お子さんの支援の方針について情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・お子さんの発達の状況を見ながら、並行通園が必要ではないと判断したお子さんについては園への移行を勧めており、その際園の意見も伺うようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		・情報共有の場を設けていない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・事業所の特性上、事業所として交流の機会を設けていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・日々保護者にお子さんの様子をフィードバックしており、その中でお子さんの発達状況や課題について共有をしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		・家族への研修や支援プログラムの情報提供を行っていない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・個別支援計画作成にあたっては、モニタリング面談を行い、保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・個別支援計画の内容を保護者に説明した上で、同意のサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・ご相談のある方に対しては別途面談の時間を設けて対応したり、心理相談をご案内したりしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・父母会が存在していない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者からの相談については心理相談で対応できる旨をお知らせしており、申し込み時には迅速な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・定期的に、お便りやホームページで活動内容や連絡事項等の情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・お子さんに対しては、絵カード等を用いてスケジュールなどを伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・地域向けの行事を事業所単独で行っていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に、お子さんも交えた避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		・なんとなく知っているという程度の時もあるので、もう少し詳しく知りたいということがあります
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・食物アレルギーのあるお子さんについては、医師からの生活管理指導書を提出していただき、食事は別室で食べてもらっている。	・なんとなく知っているという程度の時もあるので、もう少し詳しく知りたいということがあります
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・子供の安全には十分配慮しているつもりだが、安全計画の内容を知らない
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・子供の安全には十分配慮しているつもりだが、安全計画の内容を知らない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		